

# 第11章 営繕

## 第1節 営繕業務

### 1 営繕業務

営繕業務は、知事部局、教育庁及び企業局の依頼に基づき実施する県有建築物の新築・増改築と、県が保有する597施設、延べ床面積約2,397千㎡のうち、440施設、延べ床面積約1,788千㎡について行う維持修繕等に大別できます。(数値は、いずれも平成16年度末現在。)

平成16年度は、事務依頼ベースで延べ251件、約13,347百万円の工事を取り扱いましたが、これらの工事に関する調査・設計・工事監督等を通じ、営繕課と各地域振興局建設部が連携をとりながら、安全で安心して利用できる県民共有の財産の整備・保全を図っております。

併せて、営繕工事の技術管理業務を通じ、次頁に掲げる重点的な取り組みを実践しております。

秋田県立明德館高等学校・秋田県福祉相談センター（通称：明德館ビル）



#### [建設場所]

秋田市中通二丁目地内

#### [竣工]

平成17年2月竣工

#### [計画概要]

鉄骨鉄筋コンクリート造  
8階建て  
延べ床面積  
約14,700㎡

#### [建築物の特徴]

県立秋田東高等学校、福祉相談センター（仮称）の複合施設として計画されたこの施設は、多くの県民の皆様にご利用していただけるよう1階に開放的な雰囲気スペースを設けると共に、各階に「キャンバスキューブ」と名付けたコミュニケーション空間を設けて、生徒の自発的な活動や創作、情報交換の場としました。

また、施設の長寿命化に配慮すると共に、環境と利用者に優しい施設づくりに努めました。

外観写真

## 2 重点的な取り組み

県民共有の財産である県有建築物が、多くの県民が活用できると共に多様なニーズに対応した建築物であるために、次のような基本事項を踏まえた取り組みを実践しております。

- ① 県民に親しまれる建築物
  - ・ 住民参加のワークショップを開催し設計に反映。街並みや周辺環境と調和した建築計画。
- ② 利用者にやさしい建築物
  - ・ 地域の気候風土を踏まえ、敷地と建築物の各機能に応じた適切なバリアフリーを推進。
- ③ 環境にやさしい建築物
  - ・ 自然エネルギー（地中熱、雪冷房、太陽熱等）、雨水、地下水の利用。再生資材の活用。
- ④ 県産材を活用した建築物
  - ・ 秋田杉に代表される県産木材を活用し、公共建築物の木造化、木質化を推進等。
- ⑤ 安全で安心して使える建築物
  - ・ 災害時の救援活動拠点となる公共施設について、耐震化（診断及び改修）を推進。
- ⑥ 建設及び維持管理コストの縮減
  - ・ 市場単価の適用範囲を拡大。民間建築物とのコスト比較研究。更新に配慮した機器の選定。
  - ・ ストックマネジメント（既存建築物の維持管理）研究の継続的取り組み。
- ⑦ 広報・広聴の充実
  - ・ 美の国あきたネットを活用した発信情報の充実。

### 県産材活用の事例



秋田県立大館国際情報学院中学校・高等学校 メディアホール

## 第2節 営繕関係事業

### 1 平成17年度営繕工事の概要と平成16年度営繕工事の発注実績

平成17年度に、営繕課が知事部局、教育庁及び企業局から事務の依頼を受けて実施する受託工事及び直営の修繕工事は延べ195件、5,775百万円の見込みです。

これは、前年度実績（事務依頼ベース）に比べて件数で約78%、工事費で約43%になります。

	工事種別	機関名	平成17年度		平成16年度実績		対前年度比較	
			件数 (件)	工事費 (千円)	件数 (件)	工事費 (千円)	件数 %	工事費 %
受託 工事	新築・増改 築	知事部局	26	2,069,131	40	3,828,816	65%	54%
		教育庁	8	2,377,677	8	8,086,089	100%	29%
		企業局	2	53,150	—	—	—	—
		小計	36	4,499,958	48	11,914,905	75%	38%
	維持修繕等	知事部局	40	474,394	52	554,398	77%	86%
		教育庁	62	465,627	65	467,967	95%	99%
		企業局	5	16,771	15	14,292	33%	117%
		小計	107	956,792	132	1,036,657	81%	92%
受託工事総計			143	5,456,750	180	12,951,562	79%	42%
直営	維持修繕等	知事部局	52	318,516	71	395,056	73%	81%
予算	直営予算総計		52	318,516	71	395,056	73%	81%
営繕関連工事総計			195	5,775,266	251	13,346,618	78%	43%

(平成17年6月末現在)

### 2 平成17年度主要工事の概要

平成17年度に継続中の主要工事はずぎのとおりです。

事業名・工事名	建設地	主要工事概要		
		構造	規模	工事年度
県立中高一貫教育校（県北地区）建築工事	大館市	鉄筋コンクリート造3階、他	17,801㎡	H15 ~ H17
秋田中央道路整備事業（換気所）	秋田市	鉄筋コンクリート造4階（地下1階）	2,979㎡	H16 ~ H18
田沢湖スポーツセンター建設工事	田沢湖町	鉄筋コンクリート造3階	2,183㎡	H17 ~ H19

## 県立新田沢湖スポーツセンター（仮称）



外観パース

[建築場所] 仙北郡田沢湖町生保内字下高野地内

[竣工予定] 平成18年11月 完成予定

[計画概要]

管理・研修・宿泊棟	鉄筋コンクリート造
体育館棟	鉄骨造
浴室棟	木造
延床面積	約5,000㎡

### [建築物の特徴]

田沢湖スポーツセンターは、21世紀に求められる「県民に親しまれる施設づくり」を基本とし、競技スポーツや県民のスポーツ振興と生涯スポーツの愛好者育成を目指し、地域とのコミュニケーションを図りながら県民のスポーツニーズに対応した施設づくりを目指した計画としました。

施設は管理・研修・宿泊棟、体育館棟及び浴室棟の3棟からなり、渡り廊下で接続する計画としました。また、西側には田沢湖、東側には秋田駒ヶ岳を望める立地条件を生かし眺望に配慮した計画としました。

## 県立大曲農業高等学校 体育館



外観パース

[建築場所] 大仙市金谷町地内

[竣工予定] 平成18年 6月 完成予定

[計画概要] 体育館（国体ハンドボール会場）  
鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 2階建  
延床面積 約2,221㎡

### [建築物の特徴]

学校体育施設としての機能に加えて、秋田わか杉国体のハンドボール会場としても対応できる施設を計画しております。出来るだけ木材を仕上げに使用し、優しく温もりのある空間をつくります。また、地域開放にも対応するようバリアフリーに配慮します。